

“みっくすびーんずきゃんぷ”では利用者様の身体の状況や成長過程に寄り添いながら、活動を通して、他者や職員、地域の人たちと関わることで、さまざまな体験を積み重ねることができるよう看護師、児童指導員・保育士など多職種が連携し、専門性を生かした視点からアプローチしていきます。

【利用者様の状況や季節に合わせたプログラムを“発達の5領域”に沿って立案、実施していきます】

- 健康・生活…健康状態の維持・改善、基本的生活スキルの獲得
- 運動・感覚…姿勢と運動、動作の向上、保有する感覚の統合的な活用
- 認知・行動…認知の発達と行動の習得
- 言語・コミュニケーション…言語の形成と活用、コミュニケーション手段の選択と活用
- 対人・社会性…他者との関りの形成、自己の理解と行動の調整、仲間づくりと集団参加

集団・個別活動内容（例）

プログラム	ねらい	遊び方・配慮事項
絵本 （読み聞かせ）	・さまざまな言葉に触れる（エ） ・コミュニケーションを楽しむ（オ） ・視覚や感覚から刺激を受ける（イ、ウ） ・季節を感じる（ア、ウ）	好みのものや興味があるものを季節に合わせたものから選ぶ。視覚的に捉えにくい利用者様には、感触で感じられるものや、色がはっきりしたもの、仕掛け絵本、歌絵本を選ぶ。また、繰り返し読むことで、安心感につなげる。
制作等机上活動	・季節を感じる（ア、ウ） ・様々な感触に触れる（イ、ウ） ・手先を動かす（ア、イ、ウ） ・何かを作る楽しさを感じる（オ） ・達成感を感じる（オ）	利用者様に合わせた作業工程で行う。支援しながらも「できた」を感じられるような関りをする。様々な感触の物を用意し好みを探る。
散歩 （戸外活動）	・五感を刺激する（イ、ウ） ・季節を感じる（ア、ウ） ・地域の人や環境に触れ合う（エ、オ） ・太陽を浴びることで生活リズムを整える（ア、イ）	自然に目を向けられるように、表情を見ながら様々な声掛けを行う。利用者様の年齢、体力、環境を十分に考慮し、無理のない場所・行程にする。
びりびり遊び 風船バレー	・手先、手首を動かす（ア、イ、ウ） ・新聞や風船の感触に触れる（イ、ウ） ・やぶく音や風船を打つ感触を感じる（イ、ウ） ・宙を舞う新聞や風船を目で追う（イ、ウ）	ちぎる、丸める、ねじる、打つ、投げる（宙に投げる）などの手先や手首の動きを促す。紙が破ける音や風船の感触を感じたり、宙に舞う新聞や風船を目で追うことで視覚からのアプローチを行う。
季節行事	・コミュニケーションを楽しむ（オ） ・視覚や感覚から刺激を受ける（イ、ウ） ・季節を感じる（ア、ウ）	夏祭りやクリスマス会、節分など行事を行うことで、日本や外国の文化に触れる。また、準備なども一緒に行う。
クッキング	・様々な感触や匂いを感じる（イ、ウ） ・食に興味を持つ（ア、イ、ウ） ・作って食べる達成感を味わう（イ、ウ、エ、オ） ・お友だちと一緒に作る楽しさを感じる（エ、オ）	季節を感じられるものや利用者様が食べやすいものを作る。工程も反応を見ながら丁寧に関わる。アレルギーや参加については事前に確認を行う。
ふれあい遊び	・スキンシップを通じて安心感を持つ。（エ、オ） ・コミュニケーションを通じて他人への親しみを持つ。（エ、オ） ・身体の動かし方や動かす楽しさを知る。（イ、ウ）	手遊びやわらべ歌で遊ぶときは、利用者様と触れ合いながら、視線を合わせながら繰り返しゆっくりと歌う。利用者様の様子を見ながら、歌声や動き、スピードも変化させていく。スキンシップを取りながら、力加減に配慮し身体の様々な部分を動かす。

＊ “ねらい” の（ ）内は主に係る領域 / （ア）健康・生活（イ）運動・感覚（ウ）認知・行動（エ）言語・コミュニケーション（オ）対人・社会性